

【Photo アルバム】 2月10日はニット(編み物)の日

暖かい冬の日 ほっこりと

毛糸で着飾った「兵庫の津」 界限 walk 2019.1.22.

清盛が整備した旧大輪田泊「兵庫の津」



- 兵庫の津界限 ほっこりWalk by Mutsu Nakanishi
1. 久しぶりに神戸 兵庫港を歩く
 2. 毛糸で着飾った「兵庫の津」界限
1. 毛糸で着飾った新川運河プロムナード
2. 兵庫大仏の前に座す毛糸で編んだ仏様
 3. 「兵庫の津」の今の海岸線
兵庫埠頭の突堤から港神戸を眺める



1月22日の神戸新聞に「街を包む毛糸 日常を飾る」の見出しで、旧兵庫の津界限を毛糸で飾る街の展示催しの紹介と共に大きな兵庫大仏の前に座る毛糸で編まれた小さな仏様が掲載されました。

日本三大仏の一つに数えられる大きな兵庫大仏。その前に毛糸で編まれた小さな仏様が座る姿の対比が本当にほまえましく、寒い冬の朝に何か暖かい空気を運んでくれたように感じました。

小春日和の一日 「今日のWalkは久しぶりに「兵庫の津」界限へ。この仏様を見に行こうと。

何度も歩いたことがある神戸の港界限ですが久しぶり。

清盛が開いた神戸の湊「兵庫の津」

少し前になりますが、この地にあった古い古い中央卸市場が海側に移転整備され、跡地に大きなショッピングセンターが立ち、運河と共に神戸の街の始まり「旧兵庫の津」。運河沿いに古い湊の家並みを残す街として整備された。また 海岸部は造船で栄えた神戸の港。港に沿って大小の造船会社の工場街海には大小の浮きドックが並び、造船現場がすぐ前で見られ、時折、そんな現場の空気が吸いたくて、ぶらぶら歩く街。



今回は、それにニットで着飾った兵庫の津の街と大仏様にも出会いたい。 久しぶりに 兵庫の津の先 神戸港の内海に突き出た兵庫埠頭から港や 街の背後にある六甲の山並みを海からながめたいと。

「兵庫の津」の記事を見て、日頃はそのまま通過する港界限。すぐにプランが出来上がって、小春日和の一日を兵庫の津界限を楽しみました。 また、久しぶりに神戸の港の工場街 造船現場の空気にも触れることが出来て大満足。 また一つ違ったうれしい港神戸の街歩きになりました

神戸の港の始まり 清盛が開いた兵庫の津 江戸時代には隆盛を極めた神戸の中心「兵庫」であった。その後幕末の開港を境に街の中心は東の「神戸」に移ったが、港神戸の中心として栄える。明治には 海の難所和田岬を避けて、外海へ出るために兵庫運河が計画されたが、完成は明治32年末。新川運河はその一部で先に完成した。

2019. 1. 22. 神戸新聞朝刊

作品を鑑賞する親子ら＝新川運河キャナルプロムナード



カラフルな毛糸で街中の柵や街路樹などを飾り、兵庫運河周辺の魅力を発信するイベント「兵庫ニット芸術区」が21日、兵庫区切戸町の新川運河キャナルプロムナード周辺で始まった。ニットを使ったアート作品で知られ、東京を拠点に活動する力石さんが手掛けた装飾が同区内の22カ所で展示される。3月29日まで。(真鍋 愛)

兵庫で「ニット芸術区」



街包む毛糸 日常彩る

芸術家力石さんら 街路樹など22カ所

2月23日には力石さんと柵などに装飾するワークショップが新川運河キャナルプロムナードや旧岡方俱樂部(同区本町2)、柳屋神社(同区東柳原町)である。いずれも午前10時～午後4時。無料。途中参加も可。

兵庫区役所まちづくり課 078・511・2111

兵庫区役所まちづくり課の主催で、初めて開催。力石さんは昨年9月から兵庫運河周辺を歩き、住民への聞き取りなどで準備を重ねた。今月19、20日には同区の須賀野中学校の生徒や地元婦人会の有志ら約20人も協力して作品を制作した。

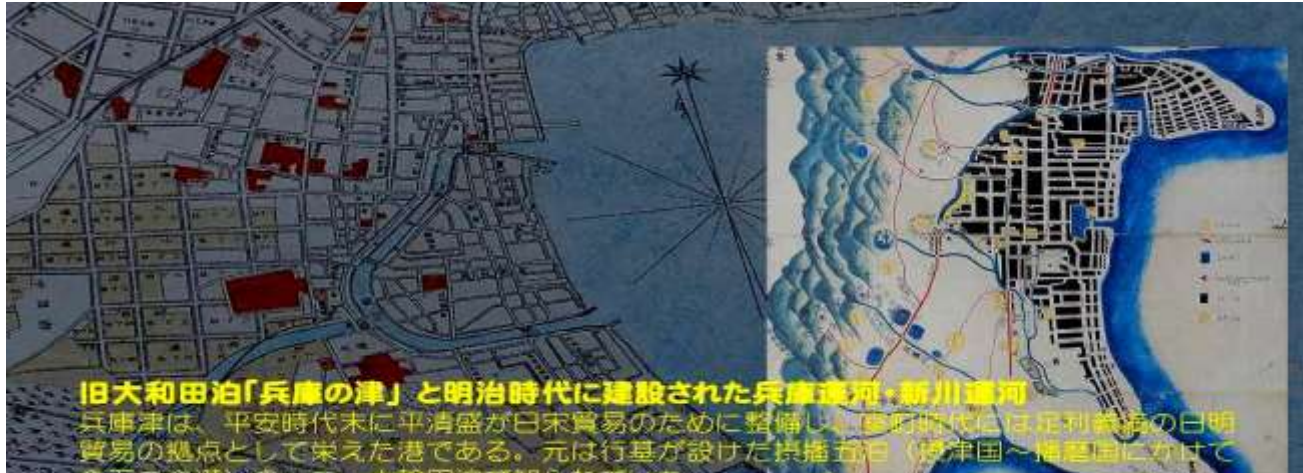
新川運河キャナルプロムナードの遊歩道約300mに赤や黄、水色などの毛糸で十字を表した作品が展示されている。

「兵庫大仏」のある熊福寺(同区北逆瀬川町)にはニットの太仏も登場。訪れた人は足を止め、スマートフォンなどで撮影していた。

妹とあいのうで遊歩道を訪れた近くの主婦大江さん(26)は「毛糸がカラフルで、川の印象が明るくなった。日課の散歩がもっと楽しくなりそう」と話した。

熊福寺に登場した、大仏を模した作品＝熊福寺

神戸新聞の記事を見て 久しぶりに兵庫港から新川運河・兵庫突堤と毛糸を着飾った兵庫の津周辺をwalk



旧大和田泊「兵庫の津」と明治時代に建設された兵庫運河・新川運河

兵庫津は、平安時代末に平清盛が日宋貿易のために整備し、室町時代には足利義満の日明貿易の拠点として栄えた港である。元は行基が設けた拱橋五石(摂津国～播磨国にかけての五つの港)の一つ、大輪田泊で知られていた。

江戸時代には兵庫津と呼ばれ、西国各地から大坂入りの船舶の寄港地として賑わった。しかし幕末の開国時に神戸港が外国船の停泊地に指定されたのをきっかけに、兵庫津はその地位を神戸港に奪われることになった。

和田岬が船の難所で船の被害が大きかったことから、兵庫出在家町の豪商・神田兵右衛門によって兵庫運河の築造が計画され、1874(明治7)年に着工しましたが工事は難航し、1886(明治9)年に船舶の避難地として新川運河だけが完成しました。

その後、八尾善四郎などの尽力により、和田岬を迂回するバイパスとして1896(明治29)年に着工され、1899(明治32)年12月に兵庫運河全体が完成しました。

インターネット検索により 抜粋まとめより

みなと神戸「兵庫の津」界限 ほっこり walk 2019. 1. 22.



暖かい小春日和の一日 毛糸で着飾った港まちを歩いて ほっこりと



1. 造船で生きる古い工場街と中小造船の浮きドックが並ぶ兵庫港界限 久しぶりに現場の空気を吸いに!!



海側の兵庫埠頭から神戸港内兵庫港を眺める



南側 兵庫港中央の水路 正面奥右手中央卸売市場の岸壁が遠望



東側 兵庫港岸壁 奥に川重のドック



西側 L字の兵庫港岸壁にも小さなドックが並ぶ





2019.1.22. 兵庫港の岸壁中央で

2019.1.22. 兵庫港で、し字に南へ突き出した兵庫港の岸壁より北側の港に兵庫の山並

久しぶりに兵庫の港の今を見ることが出来ました。
造船の街並みには人影も少なく、活気が見られなかったのですが、
川重の浮きドックには潜水艦。そして 岸壁に並ぶ中小造船のドックにも船が入って、
作業が続けられていて、造船ドックの現場のにおいにうれしくなる。
「景気は芳しくなく、また一つドックが岸壁から消える」と岸壁で聞きましたが、
元気な人たちにホッとする。
造船業の行く手は厳しいが、ぜひ持ちこたえてほしいなあと。
久しぶりに見る造船の作業現場 そして港が見れてうれしい兵庫港Walkでした。
2019. 1. 22. 兵庫港から旧兵庫津界限へ歩きながら



兵庫港を北から南へし字の岸壁に沿ってめぐると新川運河の港への出口。
運河に沿って西へ 築島橋の水門が見え、中央卸売市場前・新川運河。
築島橋から先は 市場の東側移転整備に伴って、
運河沿いがきれいな遊歩道に整備されたキャナルプロムナード。
かつての兵庫の津の街の中心の界限で、新聞で紹介されていた
「ニットで着飾った兵庫の津の街」展示が行われていました。

2. 毛糸で着飾った「兵庫の津」界限 Walk 清盛が整備した旧大輪田泊 兵庫の津 毛糸で着飾った新川運河プロムナード & 兵庫大仏の前に座す毛糸で編んだ仏様





3. 「兵庫の津」の今の海岸 神戸内港に突き出た兵庫埠頭の突堤から港神戸を眺める 港神戸の海から兵庫港・神戸の市街地越しに六甲の山並みを眺める



兵庫埠頭は卸売市場の海側背後から東へ延び、埠頭への入口は市場の南 中島の十字路口から東へ入る。 まっすぐそのまま海に突き当たった所が南側岸壁の第三突堤で北へ第二・第一埠頭と並び今は突堤の間が埋め立て整備され、一つの島になっている。

島の北側が第一突堤である。南側に第二・第三岸突堤。和田岬は新川をはさんで第二・三突堤の反対側である

神戸港中央部や六甲の山並みは第一突堤の突端ならびに北側へ回り込まないとよく見えない。



兵庫第三突堤から南西側 西六甲高城の麓辺が神戸の市街地の向こうに見える 2019. 1. 22. 東へ北側ならびに北西側は突堤の中央部になり、海が閉ざす。六甲の山並みも見えない



兵庫埠頭第三突堤南岸壁より 兵庫埠頭の南側 新川越しに神戸港入口への水路・和田岬三菱重工神戸造船・新川河口



兵庫第三突堤南岸壁より 新川の河口 正面:神戸港の入口 右:和田岬三菱重工神戸造船の工場群



兵庫第三突堤南岸壁より 新川の河口 正面:神戸港の入口 右:和田岬三菱重工神戸造船の工場群

兵庫埠頭第一突堤北側岸壁より 東の外海に広がる港神戸・西に兵庫内港の神戸市街地越しに六甲の山並みを遠望



海側の兵庫埠頭から神戸港内兵庫港を眺める



2015.1.22 神戸港の内海へまっすぐ伸びる兵庫地区、第一突堤北岸壁 先端部まで行きたかったのですが、持続先係へは立ち入り禁止でした



新川河口 兵庫港西岸壁 兵庫港北岸壁 川口 兵庫港北岸壁 兵庫港北岸壁 2019.1.22 兵庫埠頭 第一突堤北岸壁から眺める兵庫港背後の西六甲の山並み



兵庫港の西側の岸 高取山から髙越・丸山・西六甲の山並み



兵庫港の正面後側 神戸市街地を前に左岸水山 右岸釜山の山並み



2019.1.22 兵庫埠頭 第一突堤北岸壁から眺める 神戸市街地の背 六甲連山の山並み



2019.1.22 兵庫埠頭第一突堤北岸壁から眺める北東側 東六甲の山並み



兵庫の津・兵庫港界隈を歩いていたので、外海へ大きく広がる港の景色
そして「港神戸の街の背に連なる六甲連山を眺められず、
「港界隈に来て、見残している感」があったのですが、兵庫埠頭の突堤から外界へ大きく
広がる港風景・そして港の背に連なる六甲の山並みが見られ、気分爽快。
兵庫の港を眺めながら、また、中央市場前毛糸を着飾った兵庫の津の街に戻って、帰路に。
今までとはまた一つ違ったうれしい港神戸の1ページとなりました。

2019. 1. 22. ほっこりする一日を思い出しながら
Mutsu Nakanishi



暖かい冬の日 毛糸で着飾った「兵庫の津」界隈 ほっこり walk



兵庫港の逆側の岸 高取山から鶴崎・双山 西六甲の山並み



兵庫港の逆側の岸 高取山から鶴崎・双山 西六甲の山並み



兵庫港の逆側の岸 高取山から鶴崎・双山 西六甲の山並み

暖かい小春日和の日 毛糸で着飾った港まちを歩いて ほっこりと



寒い冬の日 ほっこりと



2019. 2. 10. by Mutsu Nakanishi

【風来坊・Country walk】この資料のスライド動画等 Internet file

- ◆ Internet 暖かい冬の日 毛糸で着飾った「兵庫の津」界隈 ほっこり walk 2019. 1. 22.

<http://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/walk16/1902hyougonotsu00.htm>

- ◆ スライド動画 <http://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/walk16/1902hyougonotsu.mp4>